放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　６年　２月　１４日

事業所名　Roselle Association CLUB II

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			どの訓練室も必要な広さを設けている	
	2	職員の配置数は適切であるか	6			児童発達支援管理責任者１人、児童指導員2人以上配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6				配慮が必要な児童を受け入れる場合はその都度対応していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			目標を設定し取り組んでいる	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			評価表を参考に会議を持ち改善に役立てている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			会社のHPにて公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6			社内実地指導を毎年行い、指導内容を参考に業務改善に努めている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			委員会を設立し、職員の資質向上につなげている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			サービス計画を作成する際は、職員会議を開き　計画書の質の向上に取り組んでいる	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			えいぶるノートの情報を活用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			毎朝ミーティングを行い、課題の見直しプログラムの改善などチームで話し合う場面を設定している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			チームで話し合う場面を多く持ち現在事業所に必要なプログラムをその都度設定できている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			曜日に応じて課題を設定したプログラムを行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			児童支援会議を行い、児童の状況に合わせて作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			毎朝ブリーフィングを実施している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか	6			朝のブリーフィングで振り返りを行いステップ記録や、業務日誌にも記録している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			記録の他にプログラムの動画も撮影し振り返り、話し合いを行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			計画書作成の1ヶ月前にモニタリングを行い計画書の更新を行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6			運動プログラムのほかに学習プログラムも取り入れています	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			管理者（児発管）及び、管理者補佐の方などが参加しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			学校迎え時や、学校も含めた会議の場で情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在は医療的ケアの必要な児童なし。	アレルギーや服薬に関して保護者から情報を共有し連絡体制をとっている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			相談支援事業所と連携して情報を共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				相談支援事業所との連携をとっている。	対象児童なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			外部研修を受講し職員に伝達研修などで職員と共有している。	各機関との連携を深めていきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6			地域の児童館や体育館を利用したり戸外活動にて関わる機会は多い	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6			にこキッズ連絡会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			送迎時に活動時の情報を伝えたり利用日誌などで情報共有しています。	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	6			送迎時に相談する機会がある。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			見学時・送迎時に説明を行っている。		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			事業所の専用携帯にて相談しやすいように しています。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			年に一度保護者会 を企画している	事業所単位で保護者会を企画し、保護者様にとって風通しの良い事業所を目指していきます。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情申出書をもとに情報共有をし 電話対応など迅速に行っていきます。		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			月に一度便りを 配布している		
	35	個人情報に十分注意しているか	6			鍵のついた書庫に書類は保管している。		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			管理者をはじめ、職員間で情報共有 しながら配慮しています。		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				コロナも落ち着き自治会の行事にも イベントの際は参加しています。	こちら側も夏祭りなどのイベントを企画し。招待できるように していきたいと思います。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			事務室に各種マニュアルを作成し 保管しています。		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			年２回避難訓練を 行っている		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			事業所内研修、県・市主催の研修に 参加しています。		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				身体拘束は行っていませんが、マニュアルを 作成し、準備しています。		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			アレルギー情報など 児童情報をまとめている		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			委員会にて事例検討研修を行っている		